



■ 距離 / 約4.1 km
(高千良バス停～後地バス停)

■ 歩行時間 / 1時間30分

■ 散策レベル / ★

■ コースの特徴 / この道は、海辺と山村を結ぶ要路でした。歩き始めの尾呂志地区は、田園と山並みが美しい山里です。古道では苔むした石畳が続き、巡礼者だけでなく海の幸を山里に届ける人や、山の幸を海沿いの里に届ける人が行交った往時を思わされます。



風伝風(おろし)

1 風伝峠の麓では、秋から春にかけて、海側と山側の気温差が大きな季節の早朝に、山を包み込むようにして向かってくる巨大な朝霧(風伝風)が見られます。



尾呂志城跡

2 この地域の武将「尾呂志氏」が築いた城跡が、尾呂志学園内や町中に点在しています。写真は尾呂志学園近くの道にある石です。



石畳道

3 杉林の中に苔むした石畳道が続きます。石質は、神木流紋岩です。



風伝峠と法界塔

4 林道から少し上がったところが峠です。豊臣秀吉等の奥熊野攻めなど様々な歴史的イベントにおいて、戦略の拠点となった場所です。

ふう でん はま かい どう 風伝峠道・浜街道(南)

20 24

所要時間
目安

後地バス停～《風伝峠》～尾呂志バス停まで：約 1 時間 15 分

